

社会資本総合整備計画（区画整理）

事後評価書

計画の名称	1新幹線飯山駅周辺を中心としたまちづくり														
計画の期間	平成25年度～平成27年度（3年間）					交付対象		長野県飯山市							
計画の目標															
新幹線飯山駅周辺は、平成26年度末に予定されている北陸新幹線飯山駅開業に伴って広域交通の結節拠点となる地域であり、北信州の玄関口にふさわしい交通結節機能の強化が求められている。 このため、駅前交通広場及びアクセス道路等の公共施設整備を行い、広域観光ゲートウェイ機能やハブ駅機能の充実により、広域観光振興並びに地域活性化を図る。															
計画の成果目標（定量的指標）															
・主要施設から新幹線駅への所要時間：60分⇒5分（55分短縮させる） ・飯山駅利用の観光入込客数：66,000人⇒391,000人（325,000人増加させる）															
定量的指標の定義及び算定式									定量的指標の現況値及び目標値			備考			
									当初現況値 (H23末)	中間目標値 (H26末)	最終目標値 (H27末)				
①	・主要施設からの最寄りの新幹線駅までの所要時間							60分	5分	5分					
②	・飯山駅を利用する観光客数							66,000人/年	66,000人/年	391,000人/年					
全体事業費		合計 (A+B+C)	1,093百万円	A	1,093百万円	B	0百万円	C	0百万円	効果促進事業費の割合 A（提案分）／（A+B+C）		0.0%			
事後評価（中間評価）															
○事後評価（中間評価）の実施体制、実施時期															
事後評価（中間評価）の実施体制						事後評価（中間評価）の実施時期									
						平成28年度									
市内部（事業関係課による横断的な検討体制）において評価を実施した後、学識経験者等の第三者で構成される飯山市事業評価委員会による審査を実施。						公表の方法									
						委員会での審議結果等を市のホームページに掲載する。									
1. 交付対象事業の進捗状況															
交付対象事業															
A1 基幹事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
1-A-1	区画	一般	飯山市	直接	飯山市	新幹線飯山駅周辺地区	区画整理 7.7ha	飯山市	H25	H26	H27	H28	H29	1,093	
合計														1,093	
B 関連社会資本整備事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H25	H26	H27	H28	H29		
合計														0	
番号	一体的に実施することにより期待される効果													備考	
C 効果促進事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H25	H26	H27	H28	H29		
合計														0	
番号	一体的に実施することにより期待される効果													備考	
その他関連する事業															
事業種別		地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H25	H26	H27	H28	H29		

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する

交付対象事業の効果の発現状況

指標（主要施設からの最寄りの新幹線駅までの所要時間）

最終目標値

5分

最終実績値

5分

目標値と実績値に差が出た要因

—

指標（飯山駅を利用する観光客）

最終目標値

391,000人/年

最終実績値

236,727人/年

目標値と実績値に差が出た要因

・最終目標値は、市内及び周辺市町村の代表的な観光地を対象に、他駅との競合による調整から伸び率によって推計した。そのため、観光客数の増減に影響がある「新幹線の運行本数」「客層（一人旅、団体旅行等）」「新幹線飯山駅開業に伴う二次交通の整備状況」等は考慮していなかったことから、差が出たと言える。

・野沢温泉村や志賀高原等の観光地は、近年、インバウンド（訪日外国人旅行）の拠点になっているが、飯山駅を利用する外国人観光客数を全て把握することが困難であったことから、差が出たと言える。

II 定量的指標の達成状況

III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況

(必要に応じて記述)

＜信越自然郷飯山駅観光案内所、信越自然郷アクティビティセンターの利用状況＞

信越自然郷飯山駅観光案内所では、宿泊施設の幹旋や手荷物預かりを行い、長期休暇やウィンタースポーツのシーズンに多くの利用が見られる。また、信越自然郷アクティビティセンターでは、アクティビティ用品のレンタル、インストラクターによるイベント・ツアーを開催し、毎月万遍なく利用が見られる。両施設とも新幹線飯山駅構内に整備したことで、初めて訪れた観光客でも分かりやすく、円滑な利用を促進することが出来た。

＜市内小学校による北陸新幹線関係PR活動＞

観光客が集まるイベントや飯山駅等においてPR活動を行ったことで、市内外の方との交流、子どもたちの目線で地域の魅力を再発見することが出来た。

＜市内小学校における北陸新幹線関係の授業及び取り組み＞

新幹線飯山駅が開業し、小学校の授業や行事の一環で北陸新幹線に関する学習、北陸新幹線に乗車等を取り入れたことで、子どもたちに地域の歴史や文化、観光等について興味・関心を喚起することが出来た。

＜シルバーウィーク 新幹線駅乗降客アンケートの自由意見＞

新幹線飯山駅開業後も、おもてなしの空間を維持・確保したことで、観光客から施設内の清潔さ、快適さの声を多くいただくことが出来た。

3. 特記事項（今後の方針等）

・道路や駅舎の適切な維持管理により、アクセス性・安全性を更に高め、良好な交通環境の維持・保全をすることが必要である。

・友好都市、姉妹都市等への積極的に情報発信し、PRの充実を図ることが必要である。

・市内外から訪れた方にとって、より快適な空間を確保するとともに、参加者同士の交流ができるイベントを継続的に開催することで、更なる地域の活性化を図ることが必要である。

・新幹線飯山駅周辺を中心に、更なる地域資源の充実・活用を推進し、観光客数の更なる維持・増加することが必要である。

・地域住民及び観光客等の声を継続的に把握し、新幹線飯山駅周辺の利便性や満足度の向上を目指すことが必要である。

(参考図面) 区画整理

計画の名称	1 新幹線飯山駅周辺を中心としたまちづくり			交付団体	長野県飯山市
計画の期間	平成25年度 ～ 平成27年度 (3年間)				

凡例		基幹事業 (区画整理区域内)
		過年度 施工箇所
		1-A-1 区画整理事業
		都市再生整備事業

都市計画道路			
網切線	駅前線	斑尾線	飯山新井線